

地形・地質

秦野盆地は、丹沢山地と渋沢断層で囲まれた複合扇状地からなります。地質は第三紀丹沢層群と更新世の地層に囲まれ、盆地内を埋める堆積物は、埋没砂礫層、段丘砂礫層とローム層です。大磯丘陵は、秦野盆地の南に広がる丘陵で、地質は南部に分布する先第四紀層を基盤にし、第四紀層が発達します。

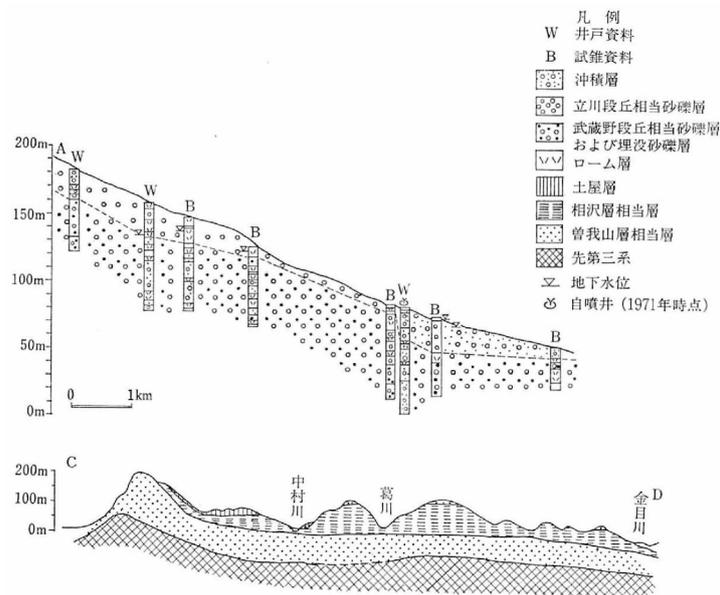


秦野盆地・大磯丘陵の地質図

地下水

秦野盆地の有能な帯水層は、埋没砂礫層と武蔵野段丘相当砂礫層で、深井戸でこれらの被圧地下水を揚水しています。大磯丘陵の有能な帯水層は、西部で曾我山層、東部で下庭層・藤沢層です。

時代	秦野盆地	大磯丘陵 東部 ← 西部
第四紀 更新世	沖積層	沖積層
	立川ローム層	立川ローム層
	立川段丘相当砂礫層	立川段丘相当砂礫層
	武蔵野ローム層	武蔵野ローム層
	箱根新期礫石流	箱根新期礫石流
	武蔵野段丘相当砂礫層	武蔵野段丘相当砂礫層
	吉沢ローム層	吉沢ローム層
	葛薬台ローム層	埋没砂礫層
	土屋ローム層	土屋層
	七国峠ローム層	七国峠層
第四紀 中世		喜沢層
		早田層
		藤沢層
		下庭層
		雑色ローム層
		桐沢ローム層
		二宮層群
		鷹取山層
		足柄層群
		三浦層群
第三紀 鮮新世		
第三紀 中新世	先新第三紀層	三浦層群



秦野盆地・大磯丘陵の地層層序表と地質断面図

出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/（日本地下水学会）